

化学物質過敏症の児童生徒が使用する教科書の天日干しについて

はじめに

- ◆化学物質過敏症の児童生徒の症状は、1人ひとり異なっています。
- ◆以下に示す教科書の天日干しの方法は一例であり、必ずしも全ての児童生徒に効果がある訳ではありません。
- ◆この方法に限ることなく、それぞれに合った方法で天日干しを行っていただくことが重要です。

天日干しの例

1. おおよそ午前11時頃から午後3時頃までの時間帯を目安に、風通しの良い日陰か、直射日光の当たらない屋内で行います。
(※雨の翌日や梅雨時期などは空気中の湿気が多いので避けるようにしましょう。
※直射日光が当たると本の日焼けや変色の原因になるので注意しましょう。)
2. 本を立てて90度以上180度以内の角度で広げたまま数時間放置するか、ページをめくりながら空気に触れさせます。
3. 数回パラパラとめくって全てのページを空気に触れさせた方が効果は高まります。
4. 洗濯物を干す要領で、物干しハンガーにつるす方法もございます。
5. 空気清浄機や扇風機などを利用すると、より効果を感じられる場合がございます。